

温暖化対策の優良取組事例一覧表

別紙2

府省名	機関名	取組内容	導入年月日	導入コスト(千円)	省エネ効果	省エネ率	実績・推計の別	算出方法	ハード・ソフトの別
1 内閣府	本府、迎賓館他	節電チェックシートを導入し、消灯、時間外勤務の部分消灯のチェック	18.6	0	把握していない			-	ソフト
	本府庁舎	昇降機の間引き運転(4基のうち2基のみ運転)	18.3	0	把握していない			-	ソフト
		トイレに人感センサー57基設置	18.3	2,352	把握していない			-	ハード
	迎賓館	廊下及び階段のリモコンスイッチによる点灯・消灯の細分化	18.3	0	把握していない			-	ソフト
	京都迎賓館	F Mシステム(中央監視装置による館内照明、空調類をこまめに節約するもの)	17.4	開館時から館の設備として整っていたもの	把握していない			-	ハード
2 警察庁	警察大学校	コジェネシステムの運用時間変更(夜間電力時間帯の運転抑制、2台の運転効率の高度化)	17.11	945	132,519kwh/年	2.1%	推計	運転時間の変更による、ガス消費量の減、購入電力の増を推定し、トータルでの省エネ効果の算定	ソフト
					41,861m3/年	2.7%	推計		
	皇宮警察本部	人感センサーの設置、インバータエアコンの設置、冷暖房機器周辺の清掃、CO2削減に伴う環境配慮型入札の実施	18.3及び18.5	-	把握していない			-	ハード・ソフト
	東北管区警察大学校	貯湯層(8トン)の余熱を利用し、ボイラーの燃焼時間を短縮	18.6	0	800リットル/年	2.0%	推計	-	ソフト
3 防衛庁	技術研究本部	冷暖房運転時における運転時間の短縮	18.4	0	3,300m3/年	5.70%	推計	運転時間の変更による、ガス消費量の減量を推定し、省エネ効果の算定	ソフト
	技術研究本部	分散していた4つの事務所をひとつに統合することにより、冷房の効率化	17.1	0	72,000Kwh/年	75.00%	推計	150kw × 8h × 60日 = 72,000kwh	ソフト
	防衛大学校	図書情報館の照明器具70w895台をHF型蛍光灯57Wに交換)	18.1	10,920	34,905kwh/年	0.25%	推計	(70-57)w × 12.5h × 20日 × 12月 × 895台 = 34,905kwh	ハード
	技術研究本部	ガス焚吸収方式冷水水機の空気比見直しによる効率の改善、空調設定温度の見直し	18.4	0	24,384m3/年	20.00%	推計	設定温度の見直し等	ソフト

(防衛施設庁)	札幌防衛施設局	空調機の稼働時間の短縮、駐車場の給気・排気ファンの運転時間短縮、エレベータ5機のうち、2機の時間を決めて停止	18.5	0	把握していない			-	ソフト
	大阪防衛施設局	局OA導入に伴い、各課室単独のプリンターを削減し、省エネタイプの共有プリンタへ更新した。	18.3	-	把握していない			-	ハード
	福岡防衛施設局	蛍光灯取り外し、エレベータの間引き、軽装励行、冷暖房時間縮減、電気製品の主電源オフ(未使用時)、休憩時間の全室消灯、コピー機の使用制限、超過勤務時の部分消灯等	18.6	-	把握していない			-	ソフト
4 宮内庁	本庁他	アナログから液晶TVへの更新	18.3	2,345	把握していない			-	
	書陵部	エアコンの設定温度の引き上げや稼働時間の削減	18.3	1,787	把握していない			-	
	皇居内	特高受変電設備における変圧器の運転を並列運転から単独運転に変更	17.4	0	45,000kwh/年	推計	変圧器を二台(並列)運転した場合の損失117,877kwh-変圧器を一台(単独)運転した場合の損失72,819kwh = 45,000kwh	ソフト	
5 金融庁	実績無し	来年度庁舎移転予定のため。							
6 総務省	情報通信政策研究所	空調時間の縮減、照明器具の間引きなど	18.1以降	3,516	272,312kwh/年	49.3%	推計	-	
					56,868m3/年	73.0%			
	中央合同庁舎第2号館	1階エントランス照明の減光・消灯	18.8	0	8,663kwh/年	0.04%	推計	-	ソフト
		給排気ファン時間短縮	17.4	0	260,000kwh/年	0.52%	推計	0.75kw × 6h × 年間 × 200台 × 係数(効率)	ソフト
		空調機のインバータ化及びVAV制御	18.6	0	598,000KWh/年	1.63%	推計	13kw × 10h × 242日 × 72台 × 係数(効率).	ハード
		共用廊下及びトイレに人感センサー設置	18.5	80,000	579,000kwh/年	2.39%	推計	22フロア × 10h × 242日 × 約11kw	ハード
	冷却水インバータ制御、空調機外気取り入れ制御等	18.3	44,000	600,863kwh/年	1.50%	推計	冷却水IN V128,656kwh + 冬季2次ポンプ62,102kwh + 最適起動37,800kwh + 2方弁159,010kwh + 貯湯8,278kwh + 外気制御205,017kwh=600,863kwh	ハード	

		第2庁舎	事務室照明の安定器の更新(100W 64W 対象機器数411台)	18.3	15,200	29,736kwh/年	0.55%	推計	36w × 411本 × 8時間 = 118,368w 118kw 118kw × 252日 = 29,736kwh/年	ハード
			食堂の照明の消灯による電力削減(7:00 ~ 11:00 130本消灯 14:00 ~ 19:30 120本消灯)	18.7	0	11,894.4kwh/年	0.22%	推計	40w × 130本 × 4時間(7:00 ~ 11:00) = 20,800w 40w × 120本 × 5.5時間(14:00 ~ 19:30) = 26,400w (20,800w + 26,400w) × 252日 = 11894.4kwh/年	ソフト
7	公正取引委員会	中央合同庁舎6号館及び第2号館	複合機を設置することにより、各課室に設置していたプリンタの台数の削減、個人の扇風機の使用禁止	-	3,577	把握していない			-	ハード・ソフト
8	法務省	合庁6号館	蛍光灯照明器具用高効率反射板設置	16.5	4,599	測定不能			-	ハード
		大村入国管理センター	電力管理用計器導入	18.3	788	150,209kwh/年	10.0%	推計	事前に当該施設に係る最大電力使用量を自由に設定することができることから、目標値を登録することによって、電力使用量を抑制する仕組みとなっている。当機器で設定された最大値に使用量が近づくと予告警報が発せられる。	ハード
		浦安総合センター	反射板照明器具	18.3	4,813	測定不能			-	ハード
		高松法務合同庁舎他	窓ガラスに遮光フィルム貼付及び断熱効果のある液剤の塗布	17.3 ~	9,772	測定不能			-	ハード
9	外務省	本省	庁舎窓ガラス熱吸収フィルム貼り	18.3	9398	把握していない			-	ハード
			蛍光灯安定器のインバータ化(1,200台)						-	ハード
			空調機動力のインバータ化						-	ハード
			便所・廊下照明器具の人感センサー化						-	ハード
			空調運転時間の短縮						0	ソフト
			夏季における給湯設備の使用停止						0	ソフト

10	財務省	財務省本庁舎	階段及び洗面所等に人感センサー設置	18.3	9,770	78,000kwh/年	0.9%	推計	センサーの取付後の消灯率を推計し、取付前の電力使用量と比較をして算出	ハード
		九段合同庁舎	省エネ照明器具(Hf型)への更新	15.3より5カ年計画	105,610	403,200kwh/年	6.7%	推計	改修前・後の蛍光灯消費電力より推計(5カ年累計)	ハード
		東京国税局	空調機用に省エネ型ファンベルトを導入	18.7	900	51,685kwh/年	0.7%	推計	設備取扱業者から効果を聴取した結果、3~6%の省エネ効果が確認されているとの見解から本年7月に導入。省エネ効果を5%として試算。	ハード
		東大阪税務署他	屋上防水改修工事(断熱工法)	18.10	15,500	3,440kwh/年	0.6%	推計	573,331kwh × 0.6%(削減効果)=3,440	ハード
		八女税務署・大川税務署	屋上のエアコン室外機に遮光ネット設置	18.6	42	1,943kwh/年	1.5%	推計	(前年使用量)161,947kw × (本年使用割合)80% × (空調使用割合)30% ÷ (夏季のみ)2 = (夏季空調使用量)=19,433kw × (節電効果)10%=(省エネ率)1,943kwh	ハード
11	文部科学省	公用車	公用車の効率的運行	17.7	0	209 G J / 年	8.5%		-	ソフト
		文部科学省ビル	蛍光灯の間引き	17.7	0	557,309KWh/年	5.5%	推計	-	ソフト
			食堂の部分的消灯							
			冷暖房の稼働時間削減							
	エレベータの稼働削減									
12	厚生労働省	中央合同庁舎第5号館	冷却水ポンプ、冷温水ポンプのインバータ化	18.3	53,325	27,959kWh/年	0.14%	推計	100,680kw(総電気容量) × 34.5%(インバータ化による動力削減量) × 80,4933%(厚生労働省割合)=27,959kwh	ハード
			駐車場の換気量抑制(B2~1階駐車場の給排気ファンにインバータを設置)	18.3	30,000	33,556kWh/年	0.17%	推計	駐車場の給排気ファンの総容量 86.85kw インバータ化による動力削減率 20% 削減電気量 86.85kw × 10h/日 × 240日 × 0.2=41,688kwh 厚生労働省割合 41,688 × 80,4933%=33,556kwh	ハード
		各研修所・研究所	共用部分の一部消灯、トイレ到人感センサー設置など	18.1	27,300	把握していない			-	ハード・ソフト
		国立身体障害者リハビリテーションセンター	廊下、トイレ等の蛍光灯の人感センサー化、エレベータ停止による使用台数の制限、公用車の効率的利用	18.3	3,597	把握していない			-	ハード・ソフト

13	農林水産省	合同庁舎第1号館	Hf照明・人感センサーの高効率照明器具に交換	16年度～18年度	100,000	710,460kwh/年	5.00%	推計	事務室・会議室(85w-55w) × 7,316台 × 3,000時間/年 ÷ 1,000=658,440(kwh/年) 廊下等(85w-65w) × 7,316台 × 3,000時間/年 ÷ 1,000=52,020(kwh/年) + =710,460(Kwh/年)	ハード
			誘導灯の高効率ランプへの交換	18.3						
			複層ガラス及び複層ガラス用サッシに取り替え(別館)	18施工中	営繕発注工事	把握していない	-	ハード		
			外気導入制御システム導入、省エネファンベルトの更新	18.3	10,000	2.3%～3%の削減	-	ハード		
		合同庁舎第1号館及び地方支分部局等	庁舎の構築等に当たっては、木造化・内装の木質化を積極的に推進。物品の調達に当たっては、木製品や木材を使用した紙製品を優先的に選択。会議等にてカートカン(国産材30%以上含む紙製飲料容器)のお茶の利用	17年度以前より実施	不明	-	-	-		
14	経済産業省	本省別館	空調設備における室内空気の循環用出入り口にCO2センサーを新設し、外気の取り入れをCO2濃度に応じた必要量となるON-OFF制御する。あわせて外気ファンをインバータ化し、稼働量を削減	17.3	20,063	15,083kwh/年	0.10%	推計	ESCO実証事業契約書(17.3.14)において推計	ハード
						840GJ/年	4%	推計	ESCO実証事業契約書(17.3.14)において推計	
		本館及び別館	昼休み中の執務室の8割の照明を1時間消灯	18.3	0	133,056kwh/年	1.10%	推計	1時間あたりの照明電力:693kw × 年間稼働日数240日 × 執務室の8割	ソフト
		本館	ポンプ、ファン等の電動機を標準型から高効率型に更新する	18.12(予定)	12,400	101,040kwh/年	0.80%	推計	842kwh(本館電動機の電動容量合計) × 2,400(運転時間) × 5%(省エネ率)	ハード
		本館	誘導灯について、一般型から高輝度誘導灯器具に変更する。	17.3	3,492	17,423kwh/年	0.10%	推計	3,315kwh(一般型誘導灯の総消費電力)-1,326kw(高輝度誘導灯の総消費電力) × 8,760(点灯時間)=17,423kwh	ハード
		別館	冷凍機の冷水温度設定を上昇させることにより、冷凍機の運転効率向上を図る	17.3	30	146GJ/年	0.7%	推計	ESCO実証事業契約書(17.3.14)において推計	ソフト
		本館	8台の空調機ファンにインバータを組み込み、ファン動力を削減する。	18.11	14,000	42,273kwh/年	0.30%	推計	50kw(8台のインバータを組み込むファンの総電力) × 70%(負荷率) × 2,684h(稼働時間) × 45%(削減率)=42273kwh	ハード

		本館及び別館	照明の照度を2割抑制(760LXから550LX設定に変更又は2割程度の蛍光灯を間引き)	18.3	0	465,696kwh/年	3.80%	推計	(照明電力:693kw) × (1日当たり稼働時間:14時間) × 年間稼働日数:240日) × (省エネ率:20%)=465,696kwh	ソフト
		本館及び別館	冷蔵庫の台数削減(43台)、旧式冷蔵庫を省エネタイプのものに買い換え(71台)	18.3	9,527	44,176kwh/年	0.4%	推計	旧冷蔵庫43台及び新冷蔵庫(省エネタイプ)71台に切り替え	ハード
		本館	空調設備に係る蓄熱層を水蓄熱から氷蓄熱化	18.5	46,600	114,974kwh/年	0.9%	推計	-	ハード
						6,257GJ/年	29.4%	推計		
		本館及び別館	スケジュール運転で発停している換気機器を室温により制御(ON-OFF)する。	17.3	2,410	50,482kwh/年	0.4%	推計	162,280kwh(関係装置の総電力量) × 2,684h(運転時間) × 30%(削減率)=50,482kwh	ハード
		本館、別館他	パソコン、プリンタ、FAX、コピー機を一定時間経過後等に省エネモードに移行	18.10	700	118,753kwh/年	0.9%	推計	コンセント需要総量(平成11年度～13年度の消費エネルギー量の平均)に当該省エネ効果を乗ずることにより、算出	ソフト・ハード
15	国土交通省	中央合同庁舎第3号館	洗面所に人感センサー付照明器具(24箇所)に改修	18.3	12,000	1,773kwh/年	0.17%		58,061kwh(人感センサー設置前電力量)-36,288kwh(人感センサー設置後)=21,773kwh	ハード
		中央合同庁舎第3号館	守衛等による庁内巡回による点検及び各執務室内におけるチェック体制の整備	18.8	0	把握していない			-	ソフト
		中央合同庁舎第2・3号館	パソコン省エネモード設定の実施 ・モニター電源OFFモード 移行時間5分(毎日1時間を想定) ・システムスタンバイモード 移行時間15分(毎日1時間を想定)	18.7	0	175,200kwh/年	1.39%	推計	・モニター電源OFFモード 移行時間5分(毎日1時間を想定) ・システムスタンバイモード 移行時間15分(毎日1時間を想定)	ソフト
		中央合同庁舎第3号館	空調稼働時間の短縮(冷房)	18.6	0	173,000kwh/年	1.37%	推計	-	ソフト
				40,500m3/年	6.34%	推計	-			

16	環境省	本省	事務室の一部に複層ガラスを導入	18.10	12,500	2,192kwh/年	0.07%	推計	ファンの停止60w × 29基 × 10.5時間 × 120日 =2,192kw.	ハード
			蛍光灯に反射板を取り付け	18.7	2,000	70,012kwh/年	2.3%	推計	40w蛍光灯 × 2,156本 × 10h × 22日 × 12月 =68,302kw 20w蛍光灯 × 108本 × 10h × 22日 × 12月 =1,710kw + = 70,012	ハード
17	内閣官房	内閣衛星情報センター	トイレ等の照明への人感センサーの設置	18.1	790	-	0.035%	推計	-	ハード
18	内閣法制局	中央合同庁舎4号館11階	日照調整用フィルム貼り、蛍光灯のインバータ化、パソコンスクリーンセーバーの不使用	18.3	5,593	把握していない			-	ハード・ソフト
19	人事院	実績無し							-	
20	会計検査院	仮庁舎(三井ビル)	各フロア各ブロックごとに電気の使用データを定期的に院内HPへ公表する。ブロック毎に、削減目標値を上回った場合は、ペナルティとして、時間外空調の使用を制限する。	18.3	0	把握していない			-	ソフト
			照明の間引き、部分消灯の強化	18.3	0	把握していない			-	ソフト
			照明一斉点灯スイッチ使用不可(一斉スイッチ部を削除する)	18.3	0	把握していない			-	ソフト